

Mahler Festival Orchestra the 18th Subscription Concert

マーラー祝祭オーケストラ
第18回定期演奏会

グスタフ・マーラー

交響曲 第3番

Gustav Mahler

Symphonie Nr. 3



指揮
井上 喜惟



アルト独唱
葦野 蘭子

横浜少年少女合唱団
(指導: 島田 桂子)

カントルムみたか
(指導: 前田 文子、前田 史音)

東京オラトリオ研究会
(指揮: 郡司 博)

2021.5.9 sun. 13:00 開場 / 当日券販売 ◆ 14:00 開演

ミュゼザ川崎 シンフォニーホール

チケット 前売・当日・全席指定 ¥2,500 (消費税込み)

主催 ◆ マーラー祝祭オーケストラ

後援 ◆ 公益財団法人 川崎市国際交流協会、オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム

“オーストリア文化フォーラム”

チケット取り扱い

- ◆ Webぴあ pia.jp/t
Pコード: 193-896
- ◆ ミュゼザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
044-520-0200 (10-18時 / 土・日・祝も営業)

*未就学児の入場はご遠慮いただきますようお願いいたします。

問い合わせ

- ◆ マーラー祝祭オーケストラ公演事務局
<https://mahlerfestivalorchestra.com>
info@mahlerfestivalorchestra.com
Tel 0422-45-1585 (平日10-18時)
Fax 03-6745-8515

本公演は、感染症対策の指針に従い行います。

- *入場時、チケットの半券はお客様ご自身で切っていただき、入り口に用意している回収箱に投入ください。半券裏に必ずお名前、緊急連絡先をご記入ください。緊急連絡先の記載がない場合は、ご入場をお断りします。尚、公演後、1か月が経過した時点で情報は廃棄します。感染症対策にご協力ください。
- *マスク常時着用の徹底・咳エチケット順守・最低限の会話にご協力をお願いします。
- *次の症状がある場合はご来場をお控えください。37.5度以上の発熱または平熱と比べて高い発熱がある、風邪関連症状のある方。
当日はサーマルカメラでの検温にご協力ください。ご入場をお断りする場合もあります。
- *新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や神奈川県 LINE コロナお知らせシステムのご利用をお願いします。
- *楽屋口等への出待ち、人待ち、花束や贈り物の受け渡しはお控えください。

音楽監督・指揮 井上 喜惟

Hisayoshi Inoue

1962年横浜生まれ。中学卒業と同時に渡欧。ウィーン国立音楽大学、ウィーン市立音楽院でピアノ、作曲を学ぶ。指揮をK. ヴェス、S. チェリビダッケ、H. シュタイン、G. ベルティーニ、L. パーンスタインに師事。I. カラブチェフスキー、小澤征爾のアシスタントも務めた。1992年チェコ国立ブルノ・フィル定期演奏会でデビュー。その後ヨーロッパ各地のオーケストラに客演。ブルノ・フィル、チェコナショナル交響楽団、ワルシャワ・フィルを指揮したCDも発売される。

1993年からアルメニア・フィルハーモニー管弦楽団の客演指揮者。2001年から2003年までアルメニア国立放送交響楽団音楽監督・首席指揮者。

2012年からモンゴル国立音楽舞踏大学客員教授、また2013年1月からモンゴル国立フィルハーモニー管弦楽団常任客演指揮者。2017年春から「ペガサス・オーケストラ」(ニューヨーク)のミュージック・アドバイザーに就任。Altusから多数のCDが発売されている。

アルト独唱 蔵野 蘭子

Ranko Kurano

東京芸術大学、同大学院オペラ科修了。二期会及び文化庁オペラ研修所修了。文化庁芸術家在外研修員として渡伊。イタリア、フランス、ベルギー、ドイツにて研鑽。ベルギー音楽アカデミー(首席、ウックル市賞を受賞)ブリュッセル王立音楽院マスター修了。メトロポリタン歌劇場での研修。FRANCE3(TV)よりグランプリ、日本音楽コンクール、フランス、トゥルーズ国際声楽コンクール、マルモンド国際声楽コンクール入賞。国際ワグナー歌唱コンクール日本大会優勝。同ヨーロッパ大会にて特別賞受賞。15年に亘る欧州滞在中は、ハノーファー万博、ベルギー、ストラズブル、ニース歌劇場、クレタ島音楽祭《蝶々夫人》等のオペラ出演。ブリュッセル、プラハ《第9》、南仏、ポルドー、パイロイトでの演奏会。日本では、N響定演、NHK-FM、二期会公演《タンホイザー》《ホフマン物語》《さまよえるオランダ人》、日生劇場《マクロプロス家の事》《利口な女狐》《ヘンゼルとグレーテル》。新国立劇場ワグナー《リング》シリーズ等に出演。ベトナム、ハノイ選都1000年記念演奏会 マーラー《千人の交響曲》ソプラノソロ。マレーシア国立芸術大学(ASWARA)においては、マレー語による『魔笛』公演を成功に導いた指導等が評価され、最高教授賞を受賞。他 USM、UITM、インドネシアに大学客員教授として招かれると共に、世界遺産記念フェスティバル、TV出演などで歌を通じた国際理解に貢献。

CD「マーラー：交響曲第4番」「マーラー：復活」(ALTUS)、「Wagner Album」(ナミ・レコード)「Malay Folk Song」リリース。二期会会員。

マーラー祝祭オーケストラ

Mahler Festival Orchestra

2001年春、ベルティーニ、チェリビダッケに学び、当時アルメニアを中心に活躍していた注目の指揮者・井上喜惟(ひさよし)の提案により、「ジャパン・グスタフ・マーラー・オーケストラ」が発足。メンバーは学生から一般社会人まで幅広い年齢で構成され、また弦楽器を中心に複数のプロ音楽家が共同参加。ウィーンの国際マーラー協会から承認を受け、年一回マーラーの交響作品を中心に採り上げてきた。

2015年に「マーラー祝祭オーケストラ」に改称し、2015年8月に交響曲「大地の歌」、2016年2月に交響曲第8番「千人の交響曲」を演奏して、これを以て全交響曲のサイクルが完結した。しかし、これで終わることなく、マーラーを愛するオーケストラは再び新たなサイクルを開始。